

# 4・26全国ストへ

## 私たちのために あなたのために ギリシャ・ゼネストのスローガン

公務員労働者

# 7.8%賃金カットは

# 全労働者への攻撃だ

【写真】緊縮財政による公務員賃金の破壊や解雇にゼネストで闘うギリシャ労働者



# 賃金破壊・首切り自由を許すな

### 前代未聞の一斉賃下げ

3月29日、地方公務員の7.8%賃下げ、一時金の一割削減を前提に、地方交付税の減額が決定されました。昨年末には、国家公務員の退職金の400万円減額が決定され、地方公務員も同じようにカットされようとしています。

数百万人の自治体労働者が、国家の号令で一斉に大幅賃下げされる。前代未聞の巨大な賃金破壊です。

国家公務員の賃金は、「復興」を口実に削りとられました。それに、地方公務員も合わせるといいます。すでに「行政改革」で賃下げを続けてきた上の一斉賃下げ。もはや、生活が成り立たないところまで賃金を破壊しようとしています。

財界や安倍政権の狙いはハッキリしています。こんな賃下げを許せば、次は数千万の労働者の賃金が破壊されることは間違いありません。「公務員の賃下げ阻止」は、まさにすべての労働者の未来をかけた問題です。

### 29年ぶりの全国スト方針

これに対して、自治労が4月26日に最大2時間の全国ストライキを行う方針を決定しました。私たちは4・26全国ストを断固支持します。すべての労働者の賃金と雇用を守る闘いです。この10年で労働者の平均賃金は10%も減少しま

した。その中で、安倍政権は、年間2%の物価上昇を目標に掲げました。そして消費税率も1年後に8%、15年10月に10%に引き上げるとしています。その結果、4年後には10%もの物価上昇になると試算されているのです。

「アベノミクス」でインフレが進められようとする中、さらなる賃下げは本当に生きていけない現実を膨大に生み出します。この賃下げに対する自治体労働者の闘いは、本当にあらゆる労働者の未来をかけた闘いです。

また、安倍首相の立ち上げた有識者会議では、「雇用で狙っているのは流動化」「大きな問題として公務員の身分保障問題がある。ここが流動化しないと、民間の中だけの流動化を考えてもうまくいかない」と言っています。公務員制度を解体することで、全社会的な労働規制・解雇規制の破壊に進もうとしているのです。

日本は世界最悪の借金国家です。インフレはその膨大な債務の金利を急上昇させ、すさまじい勢いで債務額を膨れ上がらせます。その矛盾を、公務員への賃金・雇用破壊を通じ、全労働者に押し付けようとしているのです。国家財政の破綻、社会保障や年金の解体、公務員の首切り・賃下げを切り口にした全面的な賃金・雇用の破壊。まさにギリシャと同じです。

### ギリシャのよりに闘おう

ギリシャでは、公務員への解雇・賃下げに対して、公務員労働者が先頭にたつて何度もゼネストに立っています。昨年の史上最大のゼネストでは、「ストライキ！ 私たちのために、あなたのために」というスローガンが掲げられました。

今こそ、本当にあらゆる労働者が団結し、この賃下げ・雇用破壊と対決するときです。すべての労働者は、自治体労働者を先頭に、賃下げ絶対反対で闘おう。自治体労働者は4・26全国ストに立ち上がろう！

国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動（国鉄闘争全国運動）

〒260-0017 千葉市中央区要町2-8 DC会館内 / 電話 043-222-7207 / FAX 043-224-7197 / nationwidemovement@yahoo.co.jp

# 残業代ゼロ法案、定昇と終身雇用の解体・・・

# 非正規化と闘おう

## 雇用と安全を守れ 動労千葉の反合・ 運転保安闘争

### 外注化・非正規化に今こそ反撃を

「外注化は雇用と安全を破壊する」「雇用と安全だけは絶対に譲れない」

JR東日本の労働組合、国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)は、10数年にわたって鉄道業務の外注化(アウトソーシング)に反対し、阻止し続けてきました。外注化が鉄道の安全も、労働者の雇用も根本から破壊するものだからです。すべての労働者の非正規雇用化を止めるための闘いでもあるからです。

鉄道業務は、一元的な指揮・管理なしには安全に運行することできません。JRは、その鉄道業務を人件費・安全費用を節約するためにバラバラにして外注化しているのです。

もはや「偽装請負」というレベルを超えた違法行為。運転に関する厳格な指揮命令も破壊されました。「このままでは間違いなく重大事故が起きる」。現場には危機感が広がっています。

外注化は雇用も破壊します。次々と仕事を下請会社・派遣会社・外注会社に突き落とし、非正規雇用にする。これがこの20数年間でした。そして、最後に

残った公務員の賃金・雇用を破壊し、「正社員」というあり方自体を社会からなくしてしまおうとしています。

そうならば、私たちの生活は本当に根本から破壊されてしまっています。民営化・外注化・非正規化に反撃する時です！

◎強行された外注化を絶対にひっくり返す！ 歴史的な春闘スト闘われる

動労千葉は外注化・非正規化反対を掲げ、3・1、3・14

17連続の春闘ストライキを闘いました。

昨年10月1日、JR東日本は全社的に車両の検査・修繕部門の外注化を強行しました。10数

年にわたって反対してきた外注化の強行はくやしい限りです。しかし職場は矛盾だらけです。動労千葉は新たな闘いに踏み出しました。

そもそも、これまでの労働運動には、合理化と外注化と徹底的に闘った経験はほとんどありません。一度外注化された業務を戻すというのはまったく新たな闘いです。

「JRに戻るまで絶対に旗を降ろさない」「外注化・非正規化に立ち向かう労働運動をつくりあげる」

動労千葉は、「反合理化・運転保安闘争」という考え方を打ち立て闘ってきました。そして、外注化による安全・雇用破壊の矛盾を突いて闘う、新たな時代の

の反合理化・運転保安闘争を職場からつくり上げようとしています。本当に歴史的な反撃が始まっています。

◎被曝労働許すな！ 汚染車両の清掃指示にスト

動労水戸は3月25日、福島第一原発事故以来、半年間、広野駅(福島県)に放置され、放射能で汚染された車両にかかわる

一切の作業・被曝労働の強制を絶対に許さないためのストに立ち上がりました(写真2)。

この車両からは実際に高い放射線が計測されており、動労水戸のストと現場の猛反発で運用できずにいたものです。それを車両運用に支障もないのに「財

産の効率的運用」のために作業を強制しようというのです。

「内部被曝の影響は5年、10年後に明らかになる。その時に、あの作業をしていなければと思っても遅い。外注化もそうだが、会社は安全を一顧だにしている。」「人の命と車両1編成と、どちらが大切なのか」

◎尼崎事故を繰り返すな！ 外注会社からストに突入

動労西日本は3月25日、外注会社「レールテック」の職場(大阪)において春闘ストライキを闘いました(写真3)。

05年の福知山線脱線事故当時、「稼ぐ！」を大阪支社長の名が殺されたのです。歴代社長は事故の責任を取らないばかりか、「経営者は安全のことなど考えなくていい。現場が考えることだ(井手元社長)」と聞き直っています。

JRグループで契約社員をいち早く導入し、非正規職化を進めたのもJR西日本でした。そして、安全の要である駅業務の外注化に踏み出しています。

「子会社化によって、車両故障、安全無視、労働者切り捨てが行われている。駅でも外注化と契約社員化で、安全が無視され、労働者が切り捨てられ、未来を奪われている」

動労西日本は、大幅賃上げ、外注化阻止、契約社員制度撤廃・「雇止め」解雇撤回の闘いを継続しています。



3月1日に幕張車両センター(千葉市)で行われたストライキ



「JRに戻るまで絶対に旗を降ろさない」「外注化・非正規化に立ち向かう労働運動をつくりあげる」

動労千葉は、「反合理化・運転保安闘争」という考え方を打ち立て闘ってきました。そして、外注化による安全・雇用破壊の矛盾を突いて闘う、新たな時代の

の反合理化・運転保安闘争を職場からつくり上げようとしています。本当に歴史的な反撃が始まっています。

# 正社員の解雇ルール、公務員の賃金削減と解雇、

# 民営化と外注化、

## 産業競争力会議 正社員の解雇ルール明示

## 正社員の大半が「準正社員」に

安倍政権は、解雇規制、労働時間、賃金制度のすべてにおいて全面的な雇用破壊を進めています。その一つの焦点は、「正社員の解雇ルール」の明示です。安倍政権の立ち上げた規制改革会議では、「職務や地域を限定した正社員の雇用ルール整備」「非正規労働者を正社員に転換する仕組みづくり」「解雇の金銭解決の導入」の3つを「正社員改革の柱」と位置づけています。

「職務や地域を限定した正社員」に「解雇の金銭解決の導入」に

「正社員」とは、期限の定めはないが、その職務や職場がなくなれば解雇できるというものです。

「正規職とパートの中間に位置する準正社員」と呼ばれ、職種転換や転勤がない分、正社員より賃金を減らすと議論されています。多くの正社員は、「職種限定、地域限定」の社員です。こんな制度が導入されれば、現在の正社員ほとんどは「準正社員」にされてしまいます。

「解雇の金銭解決の導入」についても安倍首相は国会で容認すると答弁しています。金さえ払えば解雇は自由というのです。財界は「正社員は仕事がなくとも社内に残り、新陳代謝が進まない」「規制を緩和し、人材の流動化を進めろ」と主張しています。労働者を自分から辞めさせるための「追い出し部屋」も横行しています。

労働契約法が改定され、働く期間が5年を超えると無期限の雇用契約に転換することになりました。これに対して経団連は、

「勤務地・職種限定の無期契約労働者が増える」と危機感をあらわにしています。

非正規労働者が膨大に拡大し、若者の半分は非正規です。家族をもつこともできない低賃金で、いつ首を切られるかも分からない。この膨大な怒りに対する政府の「回答」が労働契約法の改定でした。しかし、実際に起きたことは「5年で無期雇用」どころか「5年で雇い止め」です。5年以内であれば雇い止めは自由だ」という改定があったのです。

ところが、政府や財界はそれに飽き足らず、「好きだけ使って、都合が悪くなったら解雇させる」といつているのです。こんなことが許されていいはずがありません。

## 残業代ゼロ法エグゼクティブ・再浮上 8時間労働制を完全に破壊！

さらに安倍政権は、賃金制度の破壊、8時間労働制の解体、「残業代ゼロ」の合法化を狙っています。正社員の賃金を非正規並みに落としこみ、「正社員」というあり方そのものを解体してしまおうというのです。

規制改革会議では、「裁量労働制の拡大」「事務、研究開発系の働き方に適した労働時間制度の創設」を提案しています。「名ばかり管理職」が問題になっている裁量労働制をさらに拡大し、「残業代ゼロ」法とも呼ばれた「ホワイトカラーエグゼンプション」を復活させようとしているのです。

労働基準法では、一日の所定労働時間はあくまで8時間であり、それ以上の労働は「例外的」に認められているものです。それを今度は「残業」という考え方をなくしてしまおうとしているのです。

また、経団連は「ベアは論外」「定期昇給制度の見直しは喫緊の課題」と主張し、年金受給年齢引き上げに伴う再雇用制度についても「賃金カーブの見直しが必要」など賃金制度解体の口実にしようとしています。

今年の春闘では、コンビニなどの小売業では賃上げされた話になっていきます。しかし、その正社員がどれだけの収入か。すでに年収200万

## 「解雇自由」、法に明記を

産業競争力会議 民間議員が提言

## 規制改革会議が雇用重点項目

## 解雇の金銭解決焦点

## 定昇凍結・賃下げ推進

## 経団連が春闘対策方針

経労委報告

## 消費税8%・日銀目標達成なら

## 物価4%上昇家計不安

大阪・橋下市長と対決を起きていることは、全面的な雇用と賃金、8時間労働制の破壊です。最大の焦点が自治体の公務員労働者への攻撃です。

大阪の橋下市長は、市営地下鉄やバス、病院や水道、ゴミ収集事業などの民営化を暴力的に推し進め、約1万6400人の職員を非公務員化しようとしています。

東京・足立区でも、窓口業務などの外注化専門の受け皿会社の設立を進めています。公務員の大量解雇と全面的な民営化と外注化を狙う道州制の議論も急浮上しています。

安倍政権や財界による雇用と賃金、労働時間の全面的な破壊にストライキで反撃しよう。賃金と首切り自由化、民営化と外注化、非正規雇用化と闘う労働運動を復権させよう。

## 職務限定の正社員 普及へ

## 正社員の解雇ルール明示

## 有識者 解雇しやすい「準正社員」検討

# 国鉄1047名解雇撤回！ 外注化阻止！ 賃金・雇用破壊にストライキで反撃を！

## 国鉄闘争全国運動

# 6・9全国集会



### 6月9日(日)午後1時(正午)開場 東京・文京シビックホール

呼びかけ 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

- 【会場への行き方】東京都文京区春日1-16-21
- ◎東京メトロ丸ノ内線・南北線後楽園駅【直結】
- ◎都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅▼文京シビックセンター連絡通路【直結】
- ◎JR中央・総武線水道橋駅▼【徒歩約10分】

安倍政権が全面的な雇用破壊を進めようとする中、「解雇撤回」はあらゆる労働者のテーマです。26年間、解雇を許さず闘い続けてきた国鉄1047名解雇撤回の闘いは、今こそ大きな意味を持っています。

1987年の国鉄分割・民営化は大きな転機でした。約20万人の国鉄労働者が職場から追い出され、同時に労働者派遣法も制定されました。労働組合が後退し、非正規雇用が今日のように激増する出発点でした。

現在、国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)の被解雇者の解雇撤回を求める裁判が高裁で行われています。

1審東京地裁では、「国鉄分割・民営化に反対する組合員を不当に差別する目的で名簿不記載基準が策定され、採用候補者

名簿に載せなかったのは不法行為」「名簿不記載基準が策定されなければ、原告らは採用候補者名簿に記載され、その結果、JR東日本に採用されたはず」とする判決をかち取りました。

次回裁判は、5月8日です。早期結審が狙われています。解雇撤回に向けて重要な局面に入っています。

## 解雇撤回10万筆署名を JR復帰

大きな意義があります。私たち国鉄闘争全国運動は、「国鉄分割・民営化を正当化させてはならない」「国鉄闘争の火を消すな」という全国呼びかけに応じて結成されました。そして、民営化や外注化、非正規雇用化と対決できる労働運動を新たに作りあげようと闘ってきました。

国鉄1047名解雇撤回の闘いに心を寄せてきた全国のみならず、「解雇撤回・JR復帰」の10万筆署名をみなさんの職場や地域のお知り合いなどに拡大して下さい。

国鉄分割・民営化は、約20万人の国鉄労働者が職場を追われ、200人もの自殺者を出した巨大な国家的不当労働行為です。労働運動の解体を狙った戦後最大の攻撃でした。

「解雇撤回・原職復帰」を掲げて四半世紀を超えて闘われてきたのが1047名闘争です。それは全労働者の生活と権利、未来をかけた闘いです。署名用紙は、国鉄闘争全国運動ホームページでダウンロードできます。1面の住所か6・9集会にご持参ください。ネット署名(下記参照)も始めました。10万筆署名へみなさまのご協力をお願いします。

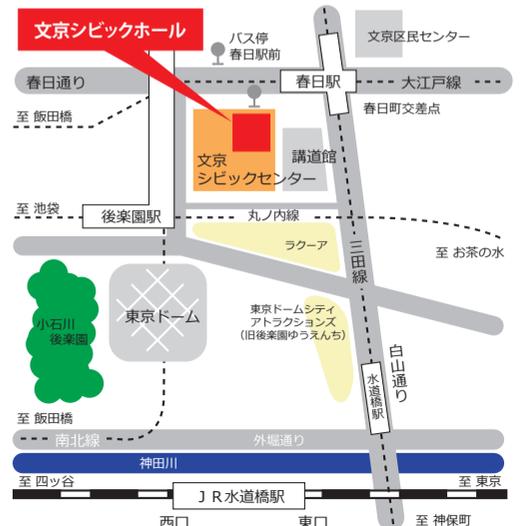
賃金削減絶対反対！国鉄分割・民営化破産のツケを労働者に転嫁するな！

JR貨物本社行動(正午より新宿駅近くのJR貨物本社に対する抗議行動)

5・1デー総行 大規模なストで反撃を！民営化・外注化・非正規化と闘う労働運動を

5・1デー新宿デモ(14時新宿中央公園に集合) 14時30分デモ出発

15時30分より新宿文化センター(新宿区新宿6・14・1)で集会



「ネット署名」も開始しました  
短縮URL <http://p.tl/FyNa>